

経済建設生活常任委員会

付託された議案の審査を行い、「平成25年度島田市一般会計予算中、当委員会の所管に属するもの」は否決すべきものと、そのほかの議案は可決すべきものと決定しました。主な審査内容は次のとおりです。

☆H25一般会計予算

○獣肉加工施設建設事業（新規事業）

問 高級ジビエ（野生動物の肉）として、ブランド化をするために、島田市の受け入れ条件を考えているのか。

答 やみくもに、すべてを受け入れるつもりはなく、目視にて状態を確認し、加工に向くかどうかを判断した上で、購入をしていく。さらに、基本的なマニュアルを用意し、それに基づいた検査を行い、購入するという運営にしたい。

問 イノシシは体温が高く、すぐに臭いがつくというところで、30分という受け入れ制限をしている所もあるが、どのように考えるか。

答 とめ刺しは、肉の鮮度、臭みをどの程度まで抑えるか、血抜きにかかっているか聞いています。

問 獣肉加工施設建設に辺地対策事業債を使うが、過疎債の場合、黒字にならない経営をするという制限があるが、辺地債についてはどのような考えか。

答 辺地債も過疎債と同様、赤字という言葉

は適切ではないが、利益を生まないことが前提となる。

○島田帯シャツ導入促進事業（新規事業）

問 帯シャツの購入枚数と購入単価は。



島田帯シャツを着て対応する市民課職員

答 現時点での試算による購入枚数は167人分で、1人に対して2着の貸与を考えている。1着約7000円と考えており、当初予算額は280万円である。

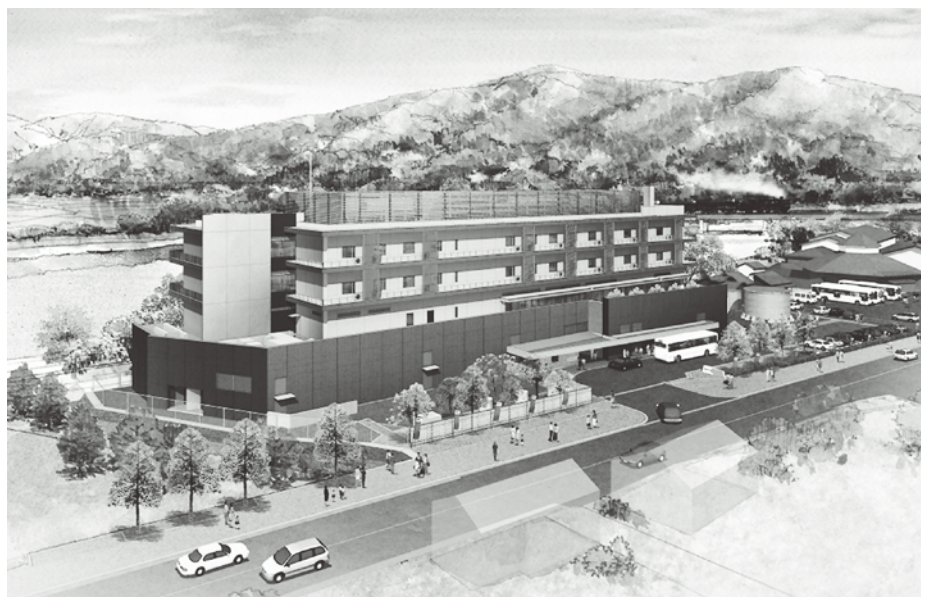
○川根温泉宿泊施設建設事業

問 赤字が10年累積すると、大きな金額になると思うが、従業員に目標がなく、赤字でもいいという感覚で仕事をすると、やりがいにくけるのではないか。

答 過疎債は、あくまでも料金収入によって独立採算ができないという事業に対して、貸し付けするということ大原則があり、確かに従業員のモチベーションも重要になってくる。事業の赤字を極力圧縮するような方策を検討し、全庁横断的に対応する必要がありますかと思う。

問 委託については、数年後に日帰り温泉と一体化で運営するために、株式会社川根町温泉に委託したいという考えなのか。

答 レストラン部門と売



川根温泉宿泊施設（イメージパース）

店は、オープン当初から株式会社川根町温泉に委託をする。それ以外は、数年間、市の直営で行い、収支の状況を見て、株式会社川根町温泉に業務委託をしていく考えである。

○バリアフリー対策事業

問 金谷駅のバリアフリー化に伴い、駅の地下通路もかなり古く、あまり明るくないので関連して改修することはないか。

答 地下通路の幅が1メートル40センチ以下の場合は、整備する基準があるが、金谷駅の場合は、1メートル57センチであるので、今回の整備では対象外となる。

民生病院教育常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。
主な審査内容は次のとおりです。

☆H25一般会計予算

問 学校給食共同調理場の建設予定地は軟弱地盤

答 であるが大丈夫か。

答 地盤調査に基づいた

問 基礎対策を行う。
答 住宅手当緊急特別措



学校給食共同調理場の建設予定地（島田市落合）

置事業の減額の理由と、住宅手当の支給が期限切れし、生活保護に移行した人は何人か。

答 昨年度の支給実績の減と、支給対象期間が6カ月から3カ月に短縮されたためである。生活保護へ移行した申請者は10人程度である。

問 戸籍情報のネットワーク化で管理センターと結んだ場合、個人情報流失するのではないか。

答 東日本大震災を受け、情報の確保を目的に行う。データは自動送信なので、流出の心配はない。

問 放課後児童クラブ運営事業で、指導員の時給が20円のアップでは低いのではないか。

答 補助指導員は、今回のアップで近隣市と同程度になる。主任指導員は平均より高くなる。

問 こども医療費は、入院・通院とも現物支給にすべきだ。中学生まで完全無料化すると幾らか。

答 財政的に厳しい。扶助費、事務費を合わせて4億4300万円になる。

問 こども館の駐車場の無料時間を30分から1時間にすべきと思うがどうか。

答 駐車場は、島田ショッピングビル株式会社の運営であり、好意で30分無料だが、1時間では、経営的に厳しくなると思われる。

問 フッ素塗布の導入に当たり、アレルギーはないか。小学校の1・2年生が対象だが、今後拡大する予定はあるのか。

答 フッ素はどの飲料物にも含まれているため、アレルギーはないので大丈夫である。拡大は、効果や保護者、学校の意見を聞き検討する。

問 学校の教職員から駐車場の利用料金を徴収することは、公務に支障が出るのではないか。
答 行政財産の目的外使用で徴収している。

公務の内容を考慮し、料金を減額する配慮をしている。

問 川越遺跡整備事業の概要の説明を求める。

答 文化財の専門家や地域住民も参加し、整備基本構想、整備基本計画、基本設計等を進め、平成25年度から26年度にかけて保存管理計画を策定する事業である。

問 旧笹間中学校利活用事業はどのようなものか。

答 国際陶芸フェスティバルに併わせ、陶芸工房を改修・整備し、終了後は、芸術を生かした滞在型交流拠点施設とする。

☆H25介護保険事業特別会計

問 介護給付費通知事業は、利用を抑制しようとするものではないか。

答 ケアマネジャーが利用計画を作成するので、通知によって抑制されることはない。

☆H25病院事業会計予算

問 医師が多く辞め、収益が悪化している。今後の見通しはどうか。

答 来年度予算は、4億8600万円の経常損失である。医師の確保と、さらなる経営の効率化に努めたい。



無料化が求められた学校職員駐車場

総務消防常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。
主な審査内容は次のとおりです。

☆H25一般会計予算

○総務事務費

問 報償費、365万円について、大幅に増えている。理由は何か。

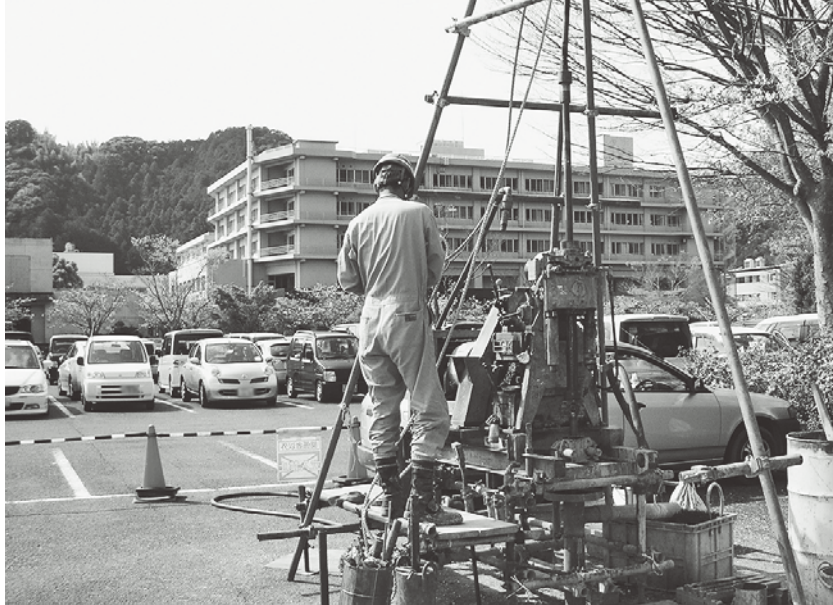
答 訴訟に係る弁護士の報償を増額している。今年度新規分として、滞納処分等の停止事件に係る案件および最終処分場の賃貸借契約に係る案件がある。

○産学官連携プロジェクト推進事業

問 この事業をいつまで続けるのか。

答 何年度までというような明確に年度を区切った考え方は持っていない。当該大学との交流の実を上げていくため、必要があれば、予算を上げていきたい。

問 大学側に島田市民病



病院敷地内におけるボーリング調査

問 院が立地している場所の情報は伝えてあるのか。

答 題等の質問を受けた際に、必ずしも良好な地盤ではないと伝えている。

○新病院建設地選定事業 建設地検討委員会の内容

問 これまでの開催が3回で、当初見込んだほど各論の評価に至っていない。病床数の規模の問題、基本的な病院の機能の議論がまだ根底に残っている。今のところジャスコ跡地周辺敷地と市役所周辺敷地、この2カ所の候補地という前提で議論している。この2カ所の立地の可能性をそれぞれの専門的な立場から伺っている。

問 まちなか移転ということで2カ所のどちらかに決定していくという方向は変わらないのか。

答 まちなか集積医療基本構想を策定し、5カ所の比較を行った。その中から、適地と思われる2カ所について、昨年来、第三者委員会を検討していただいている。移転を前提とし、2カ所について今後も検討を進め、その中から1カ所を建設地として選定していきたいという方針は何ら変わっていない。

○空港周辺プロジェクト推進事業

問 多目的産業展示施設メッセについて、県との間で進展はあるのか。

答 県が行っている空港周辺地域の理想のまちづくりを考える懇話会の中で、空港ティーガーデンシテイ構想の「風の郷」という計画で多目的展示施設等の計画が出ている。少しスケジュールが遅れているが、来年度もこの会議が持たれる。認識としては取りやめることはないということ考えている。

島田市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例

問 条例改正によって影響する市職員は何人か。

答 定年退職者数は、平成25年度末で22人、26年度末で32人の見込みである。

島田市過疎地域自立促進計画の変更

問 川根図書館が川根小学校の中に造られるというものの目的は何か。

答 現在の川根図書館は高台にあり、家山の中心点から離れている。住民の利便性あるいは図書館そのものの利用率向上を図るために、地区の拠点施設である川根小学校の敷地内に移転して一体的な整備を行うというのが移転の趣旨である。

退職手当の段階的値下げ一覧

調整率	国	本市(案)	定年退職時支給月数(勤続35年の場合)
104/100	～H24.12.31	～H25.3.31	59.28月
98/100	H25.1.1～H25.9.30	H25.4.1～H26.3.31	55.86月
92/100	H25.10.1～H26.6.30	H26.4.1～H27.3.31	52.44月
87/100	H26.7.1～	H27.4.1～	49.59月

ザッ 討 論

賛成
↓
反対
結果は表のとおり

【発議案第1号】

○島田市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について

発議案第1号に反対

議員定数を23人から20人に削減することは、住民要求の実現と地方自治民主主義に関わる重大な問題だ。島田市は、二度の合併を経て、人口10万1千人、県下6番目の面積となり、藤枝市や焼津市と比較しての削減は問題だ。議員の年間報酬や議会費の割合も、県下では低い方であり、これ以上の削減の根拠や必要性は見当たらない。目の行き届いた行政サービスの実施、住民の声が反映できる市政実現のため、議員定数削減に反対する。

発議案第1号に賛成

市内4団体から提出さ

れた陳情書では、長期化する厳しい経済情勢の中、議会を含め自治体における行財政改革を求めている。人口の多い近隣他市よりも議員定数が多いということは、これらの市民感情からすれば理解しがたいものである。

上程された議員定数20人は、特別委員会の調査結果を尊重するもので、志太榛原地域の近隣市との比較においても、市民に納得いただける議員定数であることを確信する。

【発議案第2号】

○島田市議会委員会条例の一部を改正する条例について

発議案第2号に反対

島田市議会は、議会基本条例を制定し、議員間による自由で活発な討議を活動原則としてきた。

定数20人となれば、議会運営委員会、総務消防常任委員会および民生病院教育常任委員会は7人に、経済建設生活常任委員会は6人の構成となる。議員は、市民の声を届け、市政と市民をつなぐ架け橋となる必要がある。活発な討議ができるのか、市政へのチェック機能を十分果たすことができるのか疑問だ。定数削減は、各委員会の形骸化につながる。

発議案第2号に賛成

定数が20人になった場合は、現在の常任委員会

の人数を今後は、総務消防常任委員会を7人、民生病院教育委員会を7人、経済建設生活常任委員会を6人、議会運営委員会を7人と決定した。焼津市が定数21人、藤枝市が定数22人と、市町村合併の責任を取ったとは言え、定数の減は島田市

より人口の多い14万人を超えている両市が減員している実態を考慮しても、6人の常任委員会ができるのもやむを得ないと考える。この状況を乗り切る工夫と実際にやってみた中で、さまざまな条件解決を考慮すべきだ。

【議案第9・10号】

○財産の無償譲渡について(旧島田市立金谷中央保育園・(島田市立五和幼稚園)

議案第9号・第10号に反対

民営化に反対であり、園舎や備品の無償譲渡はすべきではない。公立幼稚園や保育園の目的は、どの子にも等しく教育や保育を提供するためにある。民間もまた自らの保育理念を実践するために運営している。これらを守り発展させることこそが島田市としての責任

だ。金谷中央保育園は金谷地区で唯一の公立保育園であり、五和幼稚園も島田市唯一の公立幼稚園だ。市民から公設と民間の選択の余地を奪うものだ。効率を最優先する行政政策は容認できない。

議案第9・10号に賛成

この2件は、金谷中央保育園および五和幼稚園の民営化に伴い、園舎を移管先に無償譲渡するものである。過去の民営化においても園舎を無償譲渡しており、移管先の経済的な負担が軽減され、安定的な運営がなされていると聞く。このことから移管先法人の初期投資を軽減し、安定した経営状態の中で保育内容の充実を図ることに配慮したものであり賛成する。

【議案第12号】

○工事請負契約について(川根温泉宿泊施設建設工事)

議案第12号に反対

行政改革の民間活力を活かすことに反すること。宿泊料金のこと、職員給与のこと、黒字になった

場合の過疎債への影響のこと、10年間の収支計画が示されていないこと、委託会社の職員の時間給のことなど、この期に及んで不確定なことが多すぎる。平成25年度当初予算において、川根温泉宿泊施設建設事業費約11億5千万円の審査を行う前に工事契約を承認することはできない。島田市がホテルを経営することに反対する。

議案第12号に賛成

川根温泉宿泊施設建設事業は、平成24年11月定例会において一般会計補正予算の債務負担行為の補正の際、審議した案件である。本議案は地方自治法の規定に基づき議会の議決に付す工事請負契約で、制限付き一般競争入札により適法・適正に執行されたものである。

また、本事業は、島田市過疎地域自立促進計画の中で川根地区の中山間地の振興と交流の促進に大きく寄与する施策であると考えられ、地元経済への波及効果や雇用促進が見込まれる事業として賛成する。

【議案第14号】
H25島田市一般
会計予算

議案第14号に反対

新病院建設地検討委員
会に依頼している内容に
現地建て替えが含まれて
いない。また、建設費の
比較が示されないので容
認できない。空港周辺プ
ロジェクト推進事業で、
多目的産業展示施設の誘
致促進をしている。厳し
い社会経済状況の中では、
多目的産業展示施設とい
うハコモノ建設は財源の
使い方として容認できな
い。

また、行政財産使用料
で、学校駐車場を使用す
る教職員から駐車場料金
を徴収しているが、県下
では島田のみだ。平等性
を欠き、容認できない。

議案第14号に賛成

多目的産業展示施設に
ついては引き続き、粘り
強く県との調整をすべき。
市民病院のまちなか移
転は、新病院建設地検討
委員会にて、大局的なも
ののを見方をしていただ
いしていることを評価す
る。川根温泉宿泊施設建設

事業は、過疎地域の産業
振興が地域の自立促進を
促す。

静岡地域消防救急広域
化は、今後の広域化につ
いて話し合いをする予算
であるので、諸課題につ
いての、十分な協議を期
待する。

議案第14号に反対

旧金中跡地の多目的産
業展示施設は、不確定な
事業に対しての事業費の
投入、採算の取れないハ
コモノ建設であること。
川根温泉宿泊施設建設
事業は、市が温泉ホテル
を経営することは行政改
革に反すること。事業費
が当初の8億円から約21
億の2・7倍に膨らんだ
こと。事業費の9割が過
疎債の借金であること。
金谷庁舎跡地利用は、跡
地利用検討委員会の提言
が2年間、棚上げの状態
であること。早急に対処
すべきであり、議案第14
号に反対する。

【議案第39号】

島田市職員の退
職手当に関する条
例等の一部を改正
する条例について

議案第39号に反対

国の要請に追従して、
島田市職員の退職手当の
調整率を、現行の59・28
カ月から49・59カ月に段
階的に引き下げ、一般行
政職で約400万円の減
額を図る内容である。1
500人余の市職員と家
族の暮らしへの影響に止

まらず、デフレ不況と地
域経済を一層深刻にす
る。また、毎年正規職員
を減らされ、仕事量が増
えていく中で、市民サー
ビス向上に懸命に働いて
いる職員の士気をそぐも
のとなる。公務労働の質
の維持に関わる問題でも
あり、容認できない。

議案第39号に賛成

国家公務員の調整率の
引き下げが18カ月、3段
階の経過措置であるのに
対し、本市の場合は24カ
月、3段階と経過措置の
期間を長くしている。ま
た調整率の変更を4月1
日とするようにしてお
り、急激な退職者の増加

や年度途中における退職
者を抑制し、安定的な市
民サービス継続への配
慮がなされている。
地方公務員法の規定に
照らしても、職員の給与
は、民間事業の事情も考
慮することとしており、
退職手当の削減は適切で
ある。

採決結果一覧（54議案中、賛成・反対が分かれた7議案を掲載）

○=賛成 ×=反対		島田市議会議員の定数を定める条 例の一部を改正する条例について		島田市議会委員会条例の一部を改 正する条例について	財産の無償譲渡について (旧島田市立金谷中央保育園)	財産の無償譲渡について (島田市立五和幼稚園)	工事請負契約について (川根温泉宿泊施設建設工事)	H25年度島田市一般会計予算	島田市職員の退職手当に関する条例 等の一部を改正する条例について
氏名	会派名								
平松 吉 祝	新生	○	○	○	○	○	○	○	○
村田 千 鶴	新生	○	○	○	○	○	○	○	○
曾根 嘉 明	新生	○	○	○	○	○	○	○	○
小澤 嘉 曜	新生	○	○	○	○	○	○	○	○
中野 浩 二	新生	○	○	○	○	○	○	○	○
坂下 修	維新	○	○	○	○	○	×	×	○
杉村 要 星	維新	○	○	○	○	○	○	×	○
佐野 義 晴	維新	○	○	○	○	○	×	×	○
紅林 貢	維新	○	○	○	○	○	○	○	○
福田 正 男	維新	○	○	○	○	○	×	×	○
星野 哲 也	清流	○	○	○	○	○	○	○	○
仲田 裕 子	清流	○	○	○	○	○	○	○	○
大石 節 雄	清流	○	○	○	○	○	○	○	○
清水 唯 史	創造	○	○	○	○	○	○	○	○
藤本 善 男	創造	○	○	○	○	○	○	○	○
八木 伸 雄	創造	○	○	○	○	○	○	○	○
原木 忍	明政	×	×	×	×	×	×	×	×
河原崎 聖	明政	○	○	○	○	○	×	×	○
富澤 保 宏	公明	○	○	○	○	○	○	○	○
橋本 清	公明	○	○	○	○	○	○	○	○
松本 敏	共産	×	×	×	×	×	○	×	×
桜井 洋子	共産	×	×	×	×	×	○	×	×

*議長（溝下一夫）は、採決には加わりません。
(並び順は、会派ごと、会派代表者を先頭に、代表者以外は議席順。)

特別委員会の最終報告

平成24年6月29日の本会議において「地域活性化に関する特別委員会」および「議会改革に関する特別委員会」が設置されました。それ以来、調査・研究を行った結果、平成25年3月27日の本会議において最終報告を行い、承認されました。これをもって特別委員会が終了しました。(報告内容は要点のみ)

当委員会は、中心市街地における商業等の空洞化と人口の低密度化の進行と併せ、中山間地域の過疎化や各種後継者不足、限界集落化への危険性などの諸問題に対し、将来を見据えた対応を考へることが不可欠であることから、市当局との質疑を重ね、市内各地域の活性化のため課題解決に向けて提言をまとめました。

1. 市への提言 (要約)

1. 中心地域
 - ①衣食住が賄える住みやすいまちづくりを目指すコンパクトシティの形成が必要である。
 - ②地元住民、商店街等と行政の官民協働のまちづくりが必要である。
2. 六合地域
 - ①都市計画における第一種低層住居専用地域の見直しが必要であるとともに、基盤整備の際には、地域住民と行政の合意形成をさらに進める必要がある。
 - ②市内唯一の人口増加地域として、福祉環境の整備などの活性化施策が必要である。
3. 初倉地域
 - ①優良農地と開発可能地域との区分をしつつ、茶業などの農業振興を進め、地域の商業などへの波及効

果を創出する必要がある。

- ②少子化対策として、若者が定住でき、子育てがしやすい環境づくりが必要である。
- ③蓬莱橋右岸へ駐車場など環境整備をすることにより、観光人口増加と結びつく活性化が必要である。

4. 金谷・五和地域

- ①島田金谷インター周辺の総合的な開発と県による「内陸フロンティア構想」への参画の対応など、都市的土地利用への取り組みが必要である。
- ②各種イベントの継続や、空き店舗を利用したまちづくりに対する官民一体の活動と意識の一致が必要である。

5. 北部地域 (中山間地域)

- ①地元の魅力発信の活動や農家民宿などの取り組みに対し、施設整備や人材育成の支援施策が必要である。
- ②過疎地域自立促進計画および辺地総合整備計画の充実が必要である。

以上が島田市総合計画後期基本計画の策定に活かされることを望み、特別委員会として提言しました。

議会改革に関する特別委員会

平成21年4月に制定された島田市議会基本条例も4年が経過しようとしている。このたびの特別委員会において議会基本条例の目的が達成されているか検討を行うため、各条文を読み合わせ、先進地と当市の現況を比較することで相違を検証することができた。

日経グローバルの議会改革度ランキングでは、全国810市区中、島田市は前回まで14位であったが今回39位となった。条文の読み合わせでは、1位の流山市、2位の鳥羽市、7位の取手市の議会基本条例を参考として議論を深めた。

そこで、あらためて「開かれた議会の推進」のため議場放映や議会報告会の開催方法、さらに、執行部側との議論をより深めるための反問権や島田市基本計画の議決に関する条例など、数々の課題も浮き彫りになった。

特に、議会基本条例原案にて条例化してあった規定を別条例として規定した件や規則として規定した件、反問権の行使については委員間の意見がまとまらず、引き続き、今後の検討課題となったが、そうした中でも、島田市議会会議規則第35条の2(議案に関わる資料の要求)については、議会審議をより深めるため「政策の立案の過程における市民参加に関する事項」、「将来にわたる政策の効果及び費用に関する事項」を加えるよう条文改正を議長に提言した。

平成21年に議会基本条例を立ち上げた島田市議会は、今後も二元代表制の一翼として、その自覚の中で、さらに継続した議論を進めていかなければならない。そして、議会および議員の活動に関する基本的な姿勢をこの議会基本条例により示してきたものであり、これを規範とし、日々変化する情勢の中、守り続けることを確約した。

平成25年2月定例会の概要

2月定例会は、平成25年2月20日から3月27日までの36日間の会期で開催されました。審議された議案は、平成24年度補正予算案8件、平成25年度当初予算案11件、条例案19件、一般議案12件、物損事故の和解等の報告2件、議会側からの提案4件です。

補正予算および

発議案が成立

今議会では最初に平成24年度補正予算等報告1件、議案13件、議員による発議案4件の審議が行われました。一般会計では、18億8334万6千円が追加補正されました。

主な内容は、新病院建設地選定事業として、現在の市民病院の地質調査事業、中心市街地商業施設「おび・りあ」への進出支援事業費補助金、横井中央線整備事業、デジタル防災通信システム整備事業が盛り込まれています。また、議員の定数を20人に定める条例など4件についても討論が行われました。採決の結果は、すべて可決となりました。

代表質問・個人質問

2月定例会では会派代表者による代表質問と、通常の個人質問が行われました。3日間にわたり18人が登壇し、市当局の考えを問いました。

平成25年度当初予算

平成25年度一般会計予算額は、前年度の当初予算に比べ9億9500万円、2.8%増の361億8800万円となっています。歳入の主なものとして、市税139億6264万円、地方交付税56億円、国庫支出金39億6315万円、県支出金26億8175万円、諸収入10億5369万円、市債45億8510万円などを見込み、自主財源比率は

49%となっています。また、歳出での主な事業内容は、

- ・横井中央線整備事業
- ・東町御請線整備事業
- ・空港周辺地域の生活環境改善を目的とする道路改良事業
- ・JR金谷駅にエレベーターを設置するバリアフリー対策事業
- ・コミュニティバス運行管理経費
- ・公共下水道汚水管渠整備事業
- ・島田市総合計画基本計画（後期）策定事業
- ・町内会組織助成金
- ・デジタル防災通信システム整備事業
- ・茶の防霜ファン更新事業等を行う農業基盤整備促進事業
- ・大井川大花火大会や島田大祭等への補助金

議決結果一覧

○全員賛成で可決・同意・適当と認める

- 平成24年度補正予算のうち
 - ・一般会計補正予算（第7号）
 - ・国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
 - ・土地取得事業特別会計補正予算（第1号）
 - ・公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
 - ・介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
 - ・後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）
 - ・島田市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例について（川根温泉源泉設備等改修工事）
 - 駿遠学園管理組合規約の変更について
 - 島田市議政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例について
 - 平成25年度予算のうち
 - ・国民健康保険事業特別会計予算
 - ・簡易水道事業特別会計予算
 - ・土地取得事業特別会計予算
 - ・休日急患診療事業特別会計予算
 - ・公共下水道事業特別会計予算
 - ・介護保険事業特別会計予算
 - ・介護サービス事業特別会計予算
 - ・後期高齢者医療事業特別会計予算
 - ・水道事業会計予算
 - ・病院事業会計予算
 - 島田市新型インフルエンザ等対策本部条例について
 - 島田市農業基盤整備促進事業分担金徴収条例について
 - 島田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例について
 - 島田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例について
 - 島田市一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格基準に関する条例について
 - 島田市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例について
 - 島田市が管理する市道の構造の技術的基準等を定める条例について

- ・ 川根温泉源泉設備等改修事業
- ・ 川根温泉宿泊施設建設事業
- ・ 障害者福祉サービス事業
- ・ 民間保育所助成等の事業
- ・ 初倉地区に建設される認定こども園施設整備助成事業
- ・ 伊太田代にあるゴミ処理施設の運営経費
- ・ ガス化溶融施設管理運営経費
- ・ 大津地区に建設される学校給食共同調理場整備事業
- ・ 田代の郷陸上競技場整備事業

・ 諏訪原城跡整備事業などが提案されました。

また、国民健康保険事業など特別会計8会計の合計は、205億5715万円、前年度に比べ11億126万円、5.7%の増となっています。さらに、水道事業、病院事業の企業会計の合計は、支出ベースで150億1577万円、前年度に比べ1億3929万円、0.9%の減となっています。これら提案された25年度当初予算案は議案質疑の

後、各常任委員会に付託され、各常任委員会での審査を経たのち、最終日に採決に付されました。

特別委員会の報告

議会最終日に、昨年6月に設置された特別委員会の最終報告が行われました。議会改革に関する特別委員会では、開かれた議会活動のさらなる推進のため、平成21年4月に施行された議会基本条例の見直しに関する調査研究に取り組みました。

「開かれた議会」の推進のため議場放映や議会報告会の開催方法、執行部側との議論をより深めるための反問や島田市基本計画の議決に関する条例など、数々の課題を浮き彫りにし、提言をまとめ報告がされました。

また、地域活性化に関する特別委員会では、中心市街地だけでなく、中山間地域の活性化を含めた調査研究に取り組んだ結果として、中心地域、六合地域、初倉地域、金谷・五和地域、北部地域（中

山間地域）、さらに市域全体の共通した取り組みの6項目にまとめ報告がありました。

また、議会だより編集等に関する特別委員会の報告も行われました。2月定例会に関し、議会だよりの編集に取り組んでいる最中であることから、中間報告として、時間短縮を図り、充実した編集会議への取り組み、広報紙コンクールで優秀な成績を収めている他市を訪問しての成果などが報告されました。

最終日の動き

各常任委員会からの審議結果の報告および議員間における討論の後、提案された議案すべての採決が行われ、すべて可決すべきものと決しました。

さらに、追加議案として、報告1件、人事案件3件が提案され、同意・適当と認められました。また、議員派遣など議会側の事項についても、可決すべきものと決しました。

- 島田市営住宅等の整備基準を定める条例について
- 島田市都市公園の設置基準等を定める条例について
- 島田市老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例について

- 島田市暴力団排除条例の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例について
- 地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について
- 島田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 島田市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について

- 島田市立図書館条例の一部を改正する条例について
- 島田市立図書館条例の一部を改正する条例について
- 島田市民総合施設条例の一部を改正する条例について
- 島田市過疎地域自立促進計画の変更について
- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
- 字の区域の変更について（中河西

- 河原土地改良事業
- 字の区域の変更について（谷口南部土地改良事業）
- 平成24年度島田市一般会計補正予算（第8号）
- 教育委員会委員の任命について
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 議員派遣について

賛成多数で可決

- 島田市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について
- 島田市議会委員会条例の一部を改正する条例について
- 財産の無償譲渡について（旧島田市立金谷中央保育園）
- 財産の無償譲渡について（島田市立五和幼稚園）
- 工事請負契約について（川根温泉宿泊施設建設工事）
- 平成25年度島田市一般会計予算
- 島田市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例について

その他

○ 専決処分報告について（物損事故に係る和解）（2件）

平成25年5月の選挙から、市議会議員の定数は20人に！



市議会では、平成24年9月に議員定数に関する特別委員会を設置し、適正な議員定数についてさまざまな観点から調査研究を進め、平成24年11月定例会において、当特別委員会より、適正な議員定数を現在の条例定数23人から3人を減員し20人とする調査結果が報告されました。

このような経過を踏まえ、市議会では、特別委員会の調査研究結果を尊重するとともに、二元代表制の一翼を担い、かつ議会本来の機能と役割を損なうことなく、市議会みずから率先して陳情書の趣旨に応えるため、市議会の議員定数を5月の一般選挙より20人とすべく、市議会議員の定数条例の改正案が提出され、賛成多数により、可決されました。

議会報告会を、8月に開催(予定)します。

毎年5月に開催しています議会報告会(市議会定例会などの議会活動の報告と市民との意見交換会)は、本年5月に市議会議員の改選があることから、開催時期を8月に変更します。

なお、開催日時等につきましては、決定次第ホームページ等でお知らせします。



平成25年6月定例会の日程

平成25年第2回(6月)市議会定例会の日程は次のとおりです。本会議、常任委員会の傍聴にお越しください。いずれも午前9時30分開会予定です。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 6月6日(木) 本会議(議会構成) | 6月25日(火) 本会議(一般質問) |
| 6月13日(木) 本会議(議案上程) | 6月26日(水) 本会議(議案質疑) |
| 6月21日(金) 本会議(一般質問) | 6月27日(木) 常任委員会 |
| 6月24日(月) 本会議(一般質問) | 7月9日(火) 本会議(最終日) |

なお、この予定は変更されることがあります。

編集後記

平成25年2月議会では、市長の施政方針について、7党派による代表質問、11人が個人質問に登壇して、当局との論戦が行われました。

5月には改選が予定されており、20人の議員による新たな議会運営が始まります。島田市のさらなる活性化に向けて、さまざまな議論を繰り広げていかなければなりません。引き続き市民の皆様に分かりやすい議会だよりの紙面作りに努めてまいります。今後ともご愛読をよろしくお願いいたします。



議会だより編集等に関する特別委員会

- | | |
|------|-----|
| 委員長 | 曾 橋 |
| 副委員長 | 八 木 |
| 委員 | 星 野 |
| | 木 根 |
| | 哲 伸 |
| | 嘉 明 |
| | 清 雄 |
| | 明 雄 |
| | 清 明 |
| | 清 明 |

島田市議会事務局 36-17204
Eメール: gikai@city.shimada.shizuoka.jp
ホームページ: http://www.city.shimada.shizuoka.jp/gikai/gikai_top.jsp